

わがさき  
わんにゃん  
ニュース



一生、愛して。

捨てる家族をなくしたい。  
捨てられる命をなくしたい。

わがさき  
わんにゃん  
ニュース



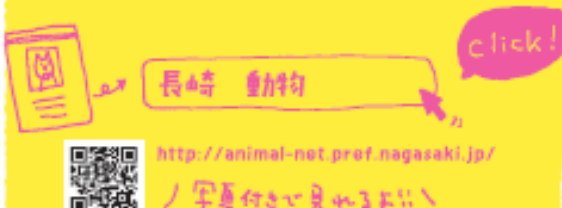
死ぬまで、  
家族のまま  
でいて。

捨てる家族をなくしたい。  
捨てられる命をなくしたい。

ペットショップへ行く前に。  
保健所へ持ち込む前に。  
このホームページを  
利用してほしい！

長崎県動物愛護情報ネットワークには、保健所等で新しい飼い主さんを待っている動物の写真が掲載されています。

また、やむを得ない事情があって、新しい飼い主さんを探されている一般の方も、このHPに情報を掲載することができます。



click!

長崎 動物

<http://animal-net.pref.nagasaki.jp/>  
ノ字裏付さで見れるよ!!

いまの日本では、すぐに犬や猫を買うことができます。しかしその一方で、年間に16万匹もの犬や猫が殺処分されているという現実。県内だけでも年間5千匹以上の犬猫が処分されています。少しでも多くの人が、このホームページを覗いてくれたら、悲しい思いをする犬猫の数が少しずつゼロに近づいてくれるに違いありません。



「猫や犬を探したい」  
「HPから探す」

「猫や犬を探したい」  
「HPから探す」

「猫や犬を探したい」  
「HPから探す」

「猫や犬を探したい」  
「HPから探す」

## 話せない動物たちには迷子札

保健所には人懐っこい飼い犬・飼い猫と思われる迷子の動物がよく保護されます。迷子札が付いていれば飼い主の元へすぐに帰れるのに…。犬の場合は登録した時の「鑑札」が迷子札の代わり。ちなみに、鑑札は犬に装着しておく事が飼い主の義務です。鑑札の番号で飼い主が分かるようになっています。災害が起きたときにも飼い主の元へ帰るとても大事

## が必要です。

な印になるんですよ。また、飼っている動物が迷子になったら、そのうち帰ってくるだろうと放っておくのは厳禁。すぐに保健所へ連絡しましょう。



4つのおはなし、4つのお願ひ。

# 未来をかえたいから お知らせします

## 不妊去勢手術をかわいそうと

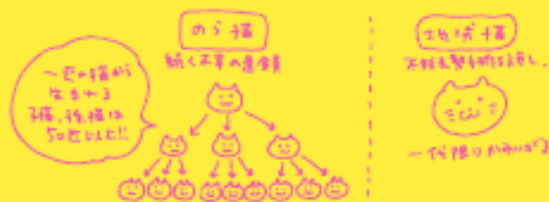
不妊去勢手術をかわいそうだと思う方もいますが、実は、しないでいるほうが犬猫にとっては辛いことなんです。子孫を残す本能に逆らうことになり発情期の度に強いストレスがかかります。むしろ、手術をすることで性ホルモンによる病気や遺伝病の予防、問題行動の予防や改善などの効果もあるんですよ。犬猫は一度に平均4匹の子どもを産みます。自然に任せた結果、生まれた子どもたちの面倒をみきれなかった、買い手がみつからなかった、という理由で保健所へ持ち込まれるケースは少なくありません。安易な自家繁殖

## 思わないで!

も殺処分へつなげる行為です。保健所に持ち込めば新しい家族のもとで幸せな暮らしを送れると思われる方もいますが、全ての犬猫が引き取られるわけではなく、その可能性はわずか1/10程度にとどまっています。どの犬猫にも、殺処分という悲しい結末を迎える可能性があります。わたしたちはそういった悲しい結末を迎える命を少しでも減らしたいと考えています。



地域猫に取り組んで  
不妊の運金費も負担のり!!



## 不幸な猫を減らすしくみ 「地域猫」。

長崎は、猫のまち。日向でくつろぐ姿や、じゃれあって遊ぶ様子は、見ているだけで癒されますよね。でも、猫のおしっこや糞、発情期の鳴き声には困ってしまうのも、また事実。それに、猫は繁殖能力が高く、1匹の母猫から1年間に生まれる子猫・孫猫の数は50匹以上。「お腹を空かせたらかわいそうだから」とのら猫にエサをあげ続けていると、その数はどんどん増えていくばかり…。そうして生まれてきた子猫たちの多くが、飢えや事故で命を落したり「飼い主がない猫」として殺処分されています。

この矛盾をどう解決するか、猫と人がお互い幸せに暮らせる方法…それが「地域猫」だと、私たちは考えます。

地域猫とは、のら猫に不妊去勢手術を施し、一代限りの猫として地域の人みんなで餌や糞尿のお世話をし、一緒に暮らしていこうという取り組み。この取り組みを行った地域では、猫の糞尿被害や殺処分数が少なくなるなどの成果がでています。長崎県獣医師会では、地域猫の取組を行う自治会に対し、不妊去勢手術の支援を行っています。